

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 344

1986. 12. 8

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

1. 年末年始のサービス業務について	1
2. 図形編集・出力プログラムEGRET/DRAWの公開に ついて	2
3. SAS version5の利用について	2
4. 名大数学ルーチンパッケージNUMPACの使用について	4
5. メッセージ電子ファイルの参照コマンドLSTMSGに ついて	5
6. 62年1月以降のジョブクラスと制限値	6
7. システムの増強について	7
8. ANALYST講習会の開催について	7
9. 「オンライン・データベース利用ガイド(第6版)」の 発行について	8

1. 年末年始のサービス業務について

年末年始のサービス業務を、下記により行いますのでお知らせします。

1. 年末のサービス業務終了

- (1) サービス業務は、12月25日(木)までとします。
- (2) 12月25日(木)までに入力されたジョブについては、12月26日(金)にすべて強制出力を行い返却棚又は、連絡所に返却します。
- (3) プログラム相談は12月25日(木)までです。

2. 年始のサービス業務開始

- (1) 昭和62年1月6日(火)から開始します。
- (2) プログラム相談は1月6日(火)から行います。

2. 図形編集・出力プログラムEGRET/DRAWの公開について

標記プログラムを公開します。このプログラムはF6653A系端末(センターでは、2階端末室に設置)を用いて、簡単に任意図形を作成し、出力するプログラムです。

このプログラムで、主に次のことが行えます。

- i) PSP等で作成されたグラフィックデータの表示(Preview)、印刷ができる。
- ii) 任意の図形をパネルで会話的に作成し、印刷する。
- iii) i), ii)の合成図を編集し、印刷する。

使用法の詳細はマニュアル〔1〕を参照してください。

標記プログラムの起動法は次のとおりです。

1) 入力形式

コマンド	オペランド
EGRD	{ FUNCTION [DSN (データセット名(メンバ名))] PREVIEW }

2) オペランドの説明

FUNCTION : EGRET/DRAWセッションを機能選択メニューより開始する。このとき、DSNパラメタでデータセット名、メンバ名の指定があれば画面に指定されたメンバの内容を表示する。

PREVIEW : PSP等で作成されたグラフィックデータの表示を行う。この指定を行うと、グラフィックデータの保存されているデータセット名とそのメンバ名の問い合わせがくるので、それに応える。

3) 注意事項

印刷パネルでNLPへ出力を行う時は、F6715Dを選択してください。

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV EGRET/DRAW手引書(図形編集・出力プログラム)(70SP-3640-2), 富士通(株).

(ライブラリ室 電内 2523)

3. SAS version 5の利用について

12月15日(月)よりSASのレベルアップを行います。SASコマンドのかわりにSAS5コマンドを使用すれば新versionのSASを利用できます(バッチ使用時のカタログプロシジャについても同じ)。SAS5コマンドは、SASコマンドとほとんど同じ造りとなっています。なお、当面(来年3月末位まで)、旧版もSASコマンドで使用可能ですが、新versionへの移行を心がけてください。

今回のレベルアップでは多くのプロシジャの機能追加が見られます。また、いくつかの点で従来

の版との互換性が失われた点もありますので、その主なものを紹介します。詳細は、下記文献〔1, 2, 3, 4, 5, 6〕を参照してください。センターでは、図書室またはプログラム相談室で参照できます。新versionのマニュアルは、SASソフトウェア部(06-222-7691)より購入してください。なお、移行のための簡単な資料を用意していますのでライブラリ室(内線2523)まで申し込んでください。

仕様が変わった箇所

LABEL, TITLE, FOOTNOTE statement のテキスト部分を引用符で囲まねばならなくなった。

GOPTIONS, TITLE statement などの **option** の指定方法が変わった。従来 **.C= . F=** のように指定していたが、**V5** では **C=F=** のようにピリオドが不要になった。

フルスクリーン端末の使用方式の改善

PFD と似た画面制御機能が追加されました。その概要を説明します。

端末入力モードで **SAS** セッションに入ると、次の3画面を利用することができます。

PROGRAM 画面	SAS プログラム編集画面
LOG 画面	SAS ・ログ情報表示画面
OUTPUT 画面	SAS プロシジャ出力表示画面

これらの画面上では **PFD** と同様な **PF** キーによるスクロール操作が可能です。**PROGRAM** 画面では多様な行コマンドとコマンド行コマンドを利用できます。ここではいくつかのコマンド行コマンドを紹介します。行コマンドは **PFD** と同様に、**I** (挿入)、**C**、**CC** (コピー)、**M**、**MM** (移動)、**R**、**RR** (リピート) の各コマンドと **A**、**B** のコマンド等を利用出来ます。

コマンド行コマンド

BYE

このコマンドにより **SAS** の配下から抜け出すことができます。

SUB (PFキー-3,15)

PROGRAM 画面の **SAS** プログラムを実行します。

RECALL (PFキー-4,16)

このコマンドで、前回 **SUB** コマンドで実行した **SAS** プログラムを再度 **PROGRAM** 画面に戻します。さらに、このコマンドを実行すると、その前に実行したプログラムが画面にもどります。

X TSS コマンド

このコマンドで **allocate**、**free** 等の通常の **TSS** コマンドを実行することが可能です。

SAVE ddname

SAVE ddname (membername)

画面上のデータをデータセットにコピーするコマンドです。

PRINT PROGRAM ddname

PRINT LOG ddname

PRINT RECALL ddname

PRINT OUTPUT ddname

各画面を出力するコマンド。あらかじめ、Xコマンド等で
`alloc f(ddname) sysout(a)`
のように出力指定の `ddname` を定義する必要があります。レコード形式VBAでデータセット
にコピーされることに注意すれば、`ddname` に保存データセットを指定することもできます。

`INCLUDE ddname`

`INCLUDE ddname(membername)`

PROGRAM画面のデータの末尾にデータセットからプログラムを挿入するコマンド。
行コマンドA、B等により挿入位置を指定することもできます。

KEYS

PFキー情報画面を表示するコマンド。この画面上では、利用者固有のPFキーを定義する
こともできます。

OUTPUT

OUTPUT画面を表示させるコマンド。

ENDコマンド

以前の画面に戻るためのコマンド。

図形出力できる端末の追加

F6653 (センター2階端末室にある漢字端末の一部)

この端末を使用する場合GNPTIONS statementでNOCHARACTERSの指定をすること。

例)

```
GOPTIONS DEVICE=F6653 NOCHARACTERS;
```

参考文献

1. SAS User's Guide : Basics Version 5 Edition, SAS Institute Inc. (日本語版あり, 3分冊).
2. SAS User's Guide : Statistics Version 5 Edition, SAS Institute Inc.
3. SAS/GRAPH User's Guide Version 5 Edition, SAS Institute Inc.
4. SAS/ETS User's Guide Version 5 Edition, SAS Institute Inc.
5. Technical Report : P-136 SASバージョン5における変更・強化点の概要.
6. Technical Report : P-146 Changes and Enhancements to the Version 5 SAS System.

(ライブラリ室 電(内)2523)

4. 名大数学ルーチンパッケージNUMPACの使用について

NUMPACは、科学技術計算用数学サブルーチンを集成した定評のあるパッケージです。今回、これを名大大型計算機センターより譲り受け、公開することにいたしました。汎用機用のスカラ版だけでなく、VP用のベクトル版も使用できます。詳細は、文献〔1, 2, 3, 4,〕を参照してください。これらは、センターでは図書室またはプログラム相談室で参照できます。なお、本パッケージを使

用した成果を公表する際は、使用プログラム名と作成者名を明記する必要がありますのでご留意ください。

1) スカラ版の使用方法

a. TSS

```
RUN ABC.FORT77 LIB('LIB.NUMPAC.LOAD')
```

b. バッチ

```
// EXEC FORT77,STEP=CG,PRVLIB='LIB.NUMPAC.LOAD'  
//FORT.SYSIN DD *  
    (NUMPACを呼出すプログラム)  
//
```

2) ベクトル版の使用方法

```
// EXEC VPFORT,PRVLIB='LIB.NUMVP.LOAD'  
//FORT.SYSIN DD *  
    (NUMPACを呼出すプログラム)  
//
```

参考文献

1. ライブラリー・プログラム利用の手引(数値計算編), 昭和57年6月, 名大大型計算機センター
2. ライブラリー・プログラム利用の手引(増補版), 昭和57年12月, 名大大型計算機センター
3. ライブラリー・プログラム利用の手引(増補版Ⅱ), 1986年7月29日, 名大大型計算機センター
4. ライブラリー・プログラム利用の手引(増補版Ⅲ), 1986年7月29日, 名大大型計算機センター

(ライブラリ室 電(内)2523)

5. メッセージ電子ファイルの参照コマンドLSTMSGについて

標記コマンドによりOS IV FORTRAN 77メッセージ説明書(70SP-5310-1)とMSPシステムメッセージとシステムコード(78SP-1022-2)のマニュアルの内容を、日本語端末で参照することができます。

コマンド入力形式は次のとおりです。

コマンド	オペランド
LSTMSG	{メッセージID コード}

例)

1. FORTRAN 77コンパイラのエラーメッセージを参照する場合

7. システムの増強について

このことについて、12月中旬(12月15日予定)に新端末(VDS)をデバック室(2F)に17台増設します。また、62年1月5日(月)から、主記憶装置の記憶容量を下記のとおり増強します。

記

機 種	現 記 憶 容 量	増強後の記憶容量
汎用プロセッサ (M382)	64MB	96MB
ベクトルプロセッサ (VP-100)	32MB	128MB

8. ANALYST講習会の開催について

標記講習会を下記の要領で開催いたします。受講希望者は、共同利用掛(電(内)2505)にお申し込みください。

ANALYSTとは富士通が提供している統計データ処理パッケージの名前で、このパッケージを使用すると、利用者が、収集したデータを簡単に解析することができます。類似のソフトウェアパッケージにSASなどがあります。特徴としては、見出しを日本語で表示できることや、解析結果をレーザビームプリンタに円グラフ、折れ線グラフ等の種々の形式できれいに印刷できることなどがあります。

なお、この講習会は九州大学情報処理教育センターとの共催です。

記

- ・日 時 12月26日(金) 10時～15時
- ・対 象 大型計算機システムで統計解析をしたい方
- ・募集人員 20名(情報処理教育センターで別途20名募集します。)
- ・内 容 ANALYSTの使用方法の解説と実習
- ・会 場 九州大学情報処理教育センター・4階講義室
- ・講 師 九州大学情報処理教育センター 藤村 直美
- ・テキスト センターで用意
- ・時間割 10:00 12:00 13:00 15:00

講 習・実 習	昼 休 み	講 習・実 習
---------	-------------	---------

- ・申し込み期限 12月19日(金) (なお、募集定員に達し次第締め切ります。)

9. 「オンライン・データベース利用ガイド(第6版)」の発行について

7大学の全国共同利用大型計算機センターおよび学術情報センターでは、それぞれデータベースのオンラインサービスを行っており、利用者は交換回線(電話)あるいはコンピュータ・ネットワークなどを介して手近な端末からどのセンターのデータベースでも利用できるようになっています。この利用ガイドは、各センターのデータベース・サービスの概略と簡単な利用法について解説したものです。このたび第6版が発行されました。ご希望の方は共同利用掛までお申し出ください。

(共同利用掛 電(内) 2505)